

子どもを育む4つの場と4つの視点

「家庭」「地域」「企業等」「学校等」を子どもを育む4つの場と位置づけ、それぞれでの大人の役割を定めました。

子どもを育む上で、時代の移り変わりに左右されない視点があります。この運動では、その中でも特に大切にしたい4つの視点から大人の行動指針を提案しています。



言葉の定義

この運動で用いる言葉の定義は次のとおりとします。

- 「子ども」…おおむね18歳未満(高校生まで)の者
- 「大人」…子どもを除くすべての者
- 「地域」…地域の住民、地域の各種団体及びNPO等の市民活動団体
- 「企業等」…事業活動を営むすべてのもの
(営利目的や法人格の有無等は問わない)
- 「学校等」…学校、幼稚園、保育所(園)その他これらに類するもの

子どもを育む4つの場



子どもを育む4つの視点

命

命の大切さを自覚する。

自立

大人として成長し続ける。

他者との
かかわり

支えられ
生きていることを
自覚する。

子どもを取り巻く
環境

子どもを取り巻く
環境に気を配る。

まず、すべての大人一人ひとりが

大人も子どもと共に育ち

市民としての責任と自覚を持ち、さがを創る個性と創造性に富む人づくり

4つの場それぞれがその役割を果たすよう努めると同時に、相互にまたは全体として連携を図ることも大切です。それぞれの場が手を取り合って、社会全体で子どもを育む気運を高めましょう。